

CLIPPER

快速艇

No.131 2024 令和6年3月1日

「二期一会」



PTA会長 宮川 裕之

日頃より伏木高校PTA活動に対し、ご理解とご協力をいただきありがとうございます。ご縁がありPTA会長として色々とお勉強させていただく機会が数多くありました。高P連北信越大会(新潟)全国大会(仙台)には校長先生と共に参加し、各高校でのPTAの取り組みや特色ある活動報告などをお聞きしました。私自身はじめて行く地域の雰囲気や魅力を感じ、また全国大会でのグループワークでは沖縄・広島・埼玉から参加された方と同じ組となり貴重な意見交換や出逢い、学びを経験しました。

その中で人との繋がりを大切にしながら先生方や地域の皆様と一緒に子供達と時代に合わせた関わり方を行い、学校を盛り立てていく事が必要だと感じました。

最後に時間は誰もが同じように平等にありますが、その中でどう行動するかでまったく違う景色が見えてくると感じます。伏木高校に入学し忘れずに、それぞれの輝ける未来を信じて歩んでいって欲しいと思います。



府丘祭
ステージ発表の様子

「対応力」



教頭 高波 善行

この4年弱の間、コロナ禍で様々な試練がありました。我慢の連続だったと思います。学校生活では行事の中止や制限等があり、誰もがもどかしい思いをしました。そんな日々を乗り越え、今は学校生活も次第にコロナ禍以前に戻りつつあります。このように目まぐるしく変化する状況の中、強い対応力を示してくれている生徒達の姿を目にするたびに、学びと成長の一年であったと実感しています。

学校行事では通常通りの規模で体育大会を行い、更に3年に1度の府丘祭を開催することができました。一般の方にも開放し、多くの保護者も来校されました。府丘祭では生徒会が中心となり、クラス展示や模擬店、ステージ発表等短い時間で準備や感染症対策を行い、笑顔あふれる素晴らしい学校祭を開催することができました。

12月には選択している言語に分かれて韓国、台湾、北海道へ語学研修に行くことができました。渡航する生徒はパスポートを取得するところから始まり、各自訪問国に関するテーマを設定し事前に調査しながら訪問先での交流会の練習も行いました。数年ぶりの語学研修ということで、海外への引率が初めての教員も多く、試行錯誤を重ねながらの指導であったと思います。そんな中、私が訪問した台湾の新北高級中学は生徒数が約2000人の大規模な学校で、校舎は一見すれば住宅街にあるマンションのようでした。心温まる歓迎式で出迎えていただき、授業参加も快く引き受けてくださいました。当初は戸惑う様子が見られた生徒達も、すぐに打ち解けてSNS等の交換をしていたようです。コミュニケーションツールの一つとしてスマートフォンを自在に活用し、国や言語を超えて交流できる現代の生徒ならではの対応力に改めて感じました。台湾の史跡や名所も多く見学し、異文化に触れるというもう一つの目的も果たせました。

今回、生徒は現地を訪問できたことで海外を肌で感じ得られるという体験ができました。生徒全員が第二外国語を学び、海外語学研修を行うことは伏木高校の国際交流料の最大の特徴であり、今後は相互に交流できるように繋げ発展していく必要があると感じました。伝統の継承と新しいことへの挑戦、そこに立つ生徒の姿を見ても学校生活における成果は顕著だと感じています。ここ数年間の苦境に互いに助け合いながら立ち向かって前進してきた経験は、私達のこれからの未来に向けた大きな力となるでしょう。

Our New Stage

私たちの
新たな
段階へ

第2学年語学研修

12/19(火)~22(金)

第2学年を対象とした海外語学研修が4年ぶりに行われた。以前はホームステイによる実施であったが、今回はホテル泊という形となった。生徒達は自分たちの選択言語に応じ韓国、台湾(中国語コース)、函館(ロシア語コース)を訪問した。

韓国語コース

21H 宮田 愛

私は韓国語を少し話せるので清明高校のみなさんと会話に挑戦してみたところわりと成立したことがとても嬉しかったです。また、タンブラーに韓国語でメッセージを書きあったり、ネットフリドラマのイカゲームを楽しむことができました。ゲームに成功する度にお

菓子がもらえて達成感を味わえた上に、バディとの仲も深まったと思います。そして最後にキンバを作りました。日本の大巻きと味が違ってとてもおいしく、食の面でも交流を深めることができました。

韓国語コース日程

- 引率者：大井 孝信、角谷 昭美、鞍田 大輝
- 12月19日(火) 学校→中部国際空港→仁川空港→ホテル
 - 20日(水) 清明高等学校訪問
 - 21日(木) ソウル市内観光(南大門市場、北村韓屋村、仁寺洞、漢江クルーズ、弘大、明洞、ホテル)
 - 22日(金) ホテル→仁川空港→中部国際空港→学校
- *滞在ホテル ホテル国都(ソウル市中区乙支路164)



特に印象に残ったのがバスから見えたイルミネーションです。建物全体、電気で装飾されておりとても迫力のある素晴らしいものでした。



中国語コース

中国語コース日程

- 引率者：高波 善行、川淵 理絵、布目 幹人
- 12月19日(火) 学校→小松空港→台北・桃園空港
台北市内研修、夕食(ホテル泊)
 - 20日(水) 新北市立新北高級中学
歓迎式典、新北高級中学キャンパスツアー
昼食、授業参観、自由交流、写真撮影、
出発、夕食、士林夜市散策
 - 21日(木) 台北市内および郊外研修
 - 22日(金) ホテル→台北・桃園空港→小松空港→学校
- *滞在ホテル ホテルリバビュウ台北(臺北市滿華區環河南路一段77號)

中国語コース

23H 村田 奈織

新北高級中学のみなさんはバスで学校の中に入っただけでも分かるくらいとても歓迎してくれました。私たちのプレゼンも全力で楽しんでくださり嬉しかったです。

学校天文台や博物館のような施設があり、生徒の皆さんが流暢に英語を話している姿を見て学習熱心で、学校側も交流に協力的だと感じました。

一番印象に残ったのは、現地のみなさんの人柄の良さです。私が代表の挨拶をする時、案内してくれた先生やステージサイドにいた生徒の方たちが「頑張れ」と言ってくれました。その後の交流でもフレンドリーに話しか



けてくださいました。生徒さんもあまりグループで分かれている感じではなく、男女仲が良さそうだったのがとても好印象でした。

ロシア語コース

観光を通じて学んだこと

22H 吉井 涼楓

印象に残っていることは富山県の雪と全く異なること、樹木は針葉樹林ばかり、屋根がない家が多いこと、食べ物がおいしいことです。研修先では「羊ヶ丘展望台」と「函館山」がとても心に残っています。一番の理由はどちらも富山県では絶対見ることができない素晴らしい景色が広がっておりどれだけ見ても飽きなかったからです。観光するにあたって私は英語を意識しました。まず、注意書きなどで使われる英語が、私たちが見てもすぐに分かるものばかりだという事です。中国人旅行者が会計する時、ほとんどの店員さんが



スラスラと簡単な英語で会話をしていました。とても有意義な4日間でした。

ロシア語コース日程

引率者: 大代 敏彦、古田 恵弥 12月19日(火) 新高岡駅→富山駅→大宮駅→新函館北斗駅 函館市内研修(トラピスト修道院、金森レンガ倉庫)ホテルで夕食 20日(水) ロシア極東連邦総合大学函館校訪問 交流会、授業に参加、函館市内研修(五稜郭公園、旧函館区公会堂、函館ハリストス正教会、函館山)、ホテルで夕食	21日(木) 多文化研修(ウポボイ民族共生象徴空間)、札幌市内研修(羊ヶ丘展望台、時計台、旧道庁)市内レストランで夕食 22日(金) 小樽市内研修(小樽運河、北一硝子等)新千歳空港、昼食→小松空港→新高岡駅、解散 *滞在ホテル ホテルリソル函館(函館市若松町6-3) クインテッサホテル札幌(札幌市中央区南8条西5丁目)
---	---



世界の料理体験

国際部長 角谷 昭美

今年度は、3学年の第2外国語の最後の授業という位置づけで、3年生全員が各国の料理に舌鼓を打ちました。この授業のために、講師の先生方が入念に準備され、他学年の生徒、先生方も協力し、心に残る授業となりました。

韓国料理 2/5月

◆料理名 (チャプチェ)
◆講師 金 光淑先生
朴 元美先生

韓国の伝統的な料理チャプチェは、韓国の身近な料理でもあります。生徒たちは先生方と記念写真を撮ったりしながら、和気あいあいと最後の授業を楽しみました。



中国料理 2/7(水)

◆料理名 (水餃子)
◆講師 鄒 姪先生

毎年鄒姪先生がふるまってくたさる水餃子、例年食べすぎる生徒が続出し、生徒も先生も楽しみにしている行事です。しかし作業は大変で、生地作りから始まり、生地を麺棒で伸

歴史探訪

1学年主任 岩瀬 裕嗣

1学年は12月15日(金)の午前中に歴史探訪を実施しました。7月に予定していた企業訪問・歴史探訪が中止になったので、伏木の豊かな歴史遺産に触れる機会を作りたいと考え、再度計画を立て実施しました。



ロシア料理 2/9(金)

◆料理名 (ボルシチ、サラダ、ライ麦パン、ジャム・チャイ)
◆講師 オクサーナ・ボンダレンコ先生

メインの料理の他に、ロシアの黒パン、サラダ、そしてデザートもあるという至れり尽くせりのコースでした。手作りのジャムの美味しさに皆酔いしれました。



先生方、ご協力いただき、本当にありがとうございました。

最初に万葉歴史館を訪れ、約30分間の講義を受けました。高岡と万葉集、そして大伴家持との関係を再確認できる有意義な機会となりました。その後、館内の展示を見学しました。生徒達はプロジェクションマッピングなどの美しい演出によって、万葉集の世界に思いをはせていたようです。

次に勝興寺へ行きました。あいの雨で建物の中だけを見て回りましたが、生徒達は大修理の成果である江戸時代の雰囲気を感じていました。最後になりましたが、暖かく迎えていただいた、万葉歴史館と勝興寺の方々に感謝申し上げます。



職業人講話

進路指導部長 細口 真弓

7月22日(土)、1、2年生全員を対象に職業人講話が開催されました。保護者やOBの方々を講



師にお迎えし、11講座を開催することができました。

生徒達は講師の方々から現在の仕事に就かれたきっかけや働き甲斐、苦労話などを伺うことで自己の将来を鑑み、働くことの意義を考えるきっかけを得て、充実した時間を過ごすことができたのではないかと思います。生徒の勤労観・職業観の形成を図るキャリア教育の一環として多くの方々のお力添えをいただきましたことに感謝申し上げます。

参加生徒の言葉

・介護施設はお年寄りの介護だけでなく児童や赤ちゃん、障がいをもっている人のためにもあることを初めて知りました。「向き合う・知り合う・支

え合う」という会社の理念についての話を伺い、そのような考えがあるからこそ、利用者の方々がよりよい生活を送れるのだと思います。合格率23%の介護専門職はたくさん勉強が必要だと思うのでしっかりと努力していきたいと思

います。挨拶や仕事に向き合う姿勢がいかに大切か教えていただきよかったです。やりがいについても話を伺うことができ、自分に合った職業をみつけたと思います。今から準備を整え、自分をさらに向上させていきたいし、何事にも積極的に取り組んでいこうと思

高校生万葉短歌バトル全国大会出場／NHK短歌「ことばのバトン」出演

万葉短歌バトルin高岡(勝興寺)(8/24)

本校は昨年に引き続き全国大会に進出し、「如意ヶ丘」チームの3人が全国ベスト8となりました。

23H 町口 晟衣菜

出場が決まってから、夏休みに何度もディベートの練習をしました。相手の気持ちを想像することで情景が思い浮かび、その時の気持ちで短歌を詠めるよつじになりました。短歌について学ぶことができ、良い思い出になりました。

23H 坂東 俊希

本番を想定し、短歌バトルの練習を繰り返し行いました。国宝勝興寺での舞台は大変感動的でした。また互いに研鑽し合う仲間

NHK短歌

「ことばのバトン」(11/12)

33H 高田 響楓

日本語には、微妙な異なるニュアンスを有する様々な言い回しの言葉が数多くあります。その



「ことばのバトン」を通して日本語の美しさに触れ、全国の仲間との絆の深まりを感じました。

ような言葉の多様性が日本語の面白さであり、美しさであると思います。私は毎日を通して、動いた心を的確に表せる表現は何かと考へたり調べたりすることが、歌を作る際に役立ってくれたのではないかと感じます。「ことばのバトン」を通して日本語の美しさに触れ、全国の仲間との絆の深まりを感じました。

府丘祭

9/29(金)・30(土)

後期生徒会長 23H 村田 奈織

今年は、3年に1度の府丘祭であり、新型コロナウイルスの制限もほほえない通常の形で行われました。そのため、生徒一人一人の府丘祭にかける思いは熱く、どのようにすると皆さんにとって最高の府丘祭になるかを考えることが大変でした。その中で皆さんがどのような府丘祭になるのを望んでいるのか思いをくみ取りながら生徒会では、生徒会ス

タージと言語クイズラリーを企画しました。短い時間で2つの企画を進めつつ、府丘祭自体も運営するのは難しい場面もありましたが、生徒会執行部全員で協力し合いました。府丘祭を成功に終わらせることができた時の喜びや達成感は今後の人生でも簡単に味わうことができるものではなく、忘れられない思い出になりました。

会長としての自分は、学校生活をより良いものにし、楽しんでほしいという思いで全力で取り組みましたが、しっかり指示を出すことが出来ず、思うように進められなかったり自分の忘れっぽい性格が嫌になったりするときもありました。それでも



多くの方に支えてもらいとても救われました。協力してくださった先生方、生徒の皆さん、外部の方々、本当にありがとうございました。



勝興寺フェスタ

勝興寺の国宝認定一周年を祝い、ライトアップ企画「黄葉フェスティバル」が10月と11月に開催された。10月7日(土)は本校の広報部の司会のもと、琴部と書道部がパフォーマンスを披露した。



書道部のパフォーマンスでは、袴姿で軽快なリズムにのって作品を制作する2名の生徒が、最後に作品を披露した瞬間、観客から惜しめない拍手が贈られた。参加した生徒たちは、観客とともに、国宝勝興寺の魅力を再確認することができた。

勝興寺での演奏

32 H 阿尾 心愛

私たち琴部は国宝勝興寺で演奏させていただきました。夕暮れの境内、ライトアップされた中での演奏は独特な幻想的な雰囲気がありました。今回披露した曲は「花筏」「未来花」上を向いて歩こうです。練習のときには強弱を意識したり、個人の技の向上に努めたりしました。また、大勢の方の前で演奏するのはとても緊張しましたが、皆

進学講演会

「高校生の発達課題と親子のかかわり」

「わが子の心が見えますか」

10月14日(土)、2学期中間考査最終日、1、2年の保護者を対象に進路研修会が開催された。学年別研修会に先立ち、県内のスクールカウンセラーのスーパーバイザーとして県教委小中学校課で活躍されている館野智子先生より講演会が行われた。講師の先生からの言葉にうなづく保護者、熱心にメモをとる保護者の姿が印象的だった。

参加保護者の声

1年P 高辻えり子

「親は子供の味方であること」、「ストレスはためない」、「誰かに話して聞いてもらうことが大事」とのことでした。「子供の考えていることや思っていること、親のあなたはわかりますか？」の問いには、わたしなら「分からない」と答えると思います。言いたいことがあるかもしれないからです。子供が何かで悩んでいる姿が見られた時には、話しやすい雰囲気と時間を作ってあげたいと思います。そして、親子で過ごす時間を大切にしたいです。



さんが一緒に手拍子をしたり歌を歌ってくださいたりしてとても嬉しかったです。機会があれば勝興寺でまた演奏したいと思いました。

卒業に寄せて

「楽しむ」才能

3 学年主任 西川 浩美

卒業への準備を進める中で入学当初の顔写真を目にする機会がありました。学習、部活動、学校行事を通して生徒の皆さんが随分と成長したことを再認識する感慨深い瞬間でした。

コロナウイルス感染症の影響で行動制限がある状況下でも、自分たちが楽しめるように工夫を凝らしながら高校生活を送ってきた彼らの日々の積み重ねが、3年生の体育大会で結実しました。「楽しむ」ということは1つの才能です。その後の学校祭や球技大会でも、そして進路実現に向けての

取り組みにおいても周りの友人と苦しいことを乗り越える楽しみを分かち合っていました。その全てを糧にして逞しく成長した彼らを送り出すことができることは大きな喜びです。卒業おめでとうございます。これからも困難に直面しても周囲の人々と楽しみながら解決法を模索し、豊かな人生を送ってほしいと願っています。

18年間、この「楽しむ」という才能を育ててくれた保護者の皆さまに敬意を表し、学校生活を送るに当たり温かく励まし支えていただいたことに感謝申し上げます。

努力

33 H 秋元 愛理

喜びと緊張の中で行われた入学式から3年が経ちました。伏木高校では、たくさんの人に出会い、貴重な経験を積むことができました。特に、生徒会執行部には2年前期から所属し3年の前期には生徒会長を務めました。また、第2外国語の学習に加

え、朗唱の会にも参加させていただきました。伏木高校でしか経験することができない活動は新鮮で私にとって大切な学びとなりました。この3年間は、楽しいことも辛いこともありましたが、私にとってかけがえないものになりました。大切な仲間たちと目標に向かい努力しあつた日々は私にとっての宝物です。これらの努力を忘れずこの先の人生も様々なことに挑戦し、目標実現のために絶えず努力をしていきたいです。



義援金16万9866円を寄付 ボランティア活動23名参加

能登半島地震で、甚大な被害を受けた伏木地区のために何かしたいと生徒会が募金活動を行った。集まったお金は2月15日、府丘祭の利益も合わせて日本赤十字社県支部高岡地区に委託した。また、2月18日には、希望者23名が、住民と共に液状化により側溝にたまった泥をスコップでかき出し、袋に入れて運ぶ作業に取り組んだ。



PTA活動報告

総務委員会

寺 安津子

総務委員の主な活動はこの広報誌「CLIPPER」の発行です。事前に担当の先生方と何度か集まり誌面の内容を何にするか意見を出し合います。前年度よりカラーの記事となり内容がわかりやすく、子供達の表情も見れ楽しめるものとなりました。コロナも5類となり少しずつ行事も復活してきて載せる記事をどうするか迷ったりもしました。

広報誌を発行するにあたり、写真の撮影や掲載文の依頼などを快くお受けいただきました皆様にはお礼申し上げます。

進路指導委員会

平島 信子

今年度の進路指導委員会の活動は、職業人講話の開催でした。この

活動は生徒達の進路選択の際に必要な情報や働くことの意義などを直接講師の方々から聞ける機会です。生徒達にとっても貴重な体験ができました。

開催にあたり、準備に御尽力頂いた先生方、お忙しいところ講師としてご参加頂きました皆様方、サポート役員の皆様方のご協力に深く感謝するとともに、今後とも皆様のご協力の程何卒宜しくお願い致します。

生活指導委員会

仁岸 宣彦

生活指導委員会では伏木曳山祭りの巡回指導とさわやか運動に参加しました。

たくさんの方でにぎわう伏木曳山祭りでは、生徒が安全に祭りを楽しめるよう、気を引き締めて巡回し、さわやか運動では、登校時の挨拶、交通安全指導を行いました。

保健厚生委員会

坂下 真規子

12月に学校保健委員会が行われました。環境美化活動に重点を置いていたこと、生徒保健委員会の疲れない体を目指した取り組み等の発表がありました。また、参加したPTA役員や学校医の先生方からは、デジタル機器に関する話題提供があり、様々な角度から心身の疲れについて振り返る機会となりました。

子ども達が、気持ち良く学校生活をおくれるようサポートしていきたいと思えます。今後とも皆様のご協力、よろしくお願ひいたします。

参加された保護者の感想から、疲れない体づくりのための姿勢

や歩き方等の説明を受け、その中の一つであるザビエルストレッチをやってみました。説明を聞きながら実際に体を動かしてみると、体のどの部分にそのストレッチが効いているのか実感できました。今回我が子以外の生徒さんの声を聞く機会がありました。



良かったです。生徒さんの堂々とした発表の様子に感心しながら参加させていただきました。

令和5年度 大会等受賞記録

- (サッカー部) 富山県U-18フットサルリーグ2023 第3位
JFA第11回全日本U18フットサル選手権大会富山県大会 準優勝
(琴部) 第34回富山県高等学校日本音楽演奏会 優秀賞
(その他) JICA国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト2023 特別学校賞
第8回高校生万葉短歌バトル 優秀賞 チーム如意ヶ丘
高田 響楓(33H) 町口辰衣菜(23H) 坂東 俊希(23H)
第9回全国高校生中国語発表会 4位 赤倉 煌大(22H)
第46回ふれあい書道展 特選 河合 唯香(31H)
特選 鮎井 日菜(31H)
特選 門 玲杏(33H)
第34回伊藤園お〜いお茶新俳句大賞 都道府県賞 長澤 樹(21H)
第24回富山県高校生ホームプロジェクトコンクール 入選 岩上 心咲(11H)
祭20回高岡山町ポエム大賞 佳作 大垣 恭也(33H)

進路状況

(延べ人数) R6.2.5 現在

- 〈国公立大学／7名〉富山大学、富山県立大学、新潟大学、長野大学、都留文科大学
〈私立大学／23名〉富山国際大学、金城大学、金沢学院大学、金沢工業大学、金沢星稜大学、北陸大学、愛知淑徳大学、京都外国語大学、帝京大学、日本福祉大学、立命館大学
〈短期大学／11名〉富山短期大学、富山福祉短期大学、岐阜市立女子短期大学、戸板女子短期大学
〈専門学校／31名〉高岡看護専門学校、北陸職業能力開発大学校、臼井美容専門学校、富山ビューティーカレッジ、富山県技術専門学校、富山県理容美容専門学校、富山歯科総合学院、富山情報ビジネス専門学校、富山大原簿記公務員医療専門学校、富山調理製菓専門学校、北陸ビジネス福祉専門学校、金沢文化服装学院、石川県理容美容専門学校、専門学校金沢美専、キャットミュージックカレッジ、東京アニメ・声優＆eスポーツ専門学校、履正社国際医療スポーツ専門学校、国際ペット専門学校、国際外語・観光・エアライン専門学校
〈就職／15名〉日本郵便株式会社北陸支社、日本ゼオン株式会社高岡工場、塩谷建設株式会社、特別養護老人ホーム藤園苑、株式会社エービーシー・マート、JFEミネラル株式会社クロム&リサイクル事業部、クラシエ製菓株式会社、株式会社ミュゼプラチナム、有限会社LEGEND OF K、株式会社ホテルニューオータニ高岡、株式会社小杉カントリークラブ、自衛官

行事予定

- 3/7(木)・8(金) 学力検査
3/22(金) 三学期終業式
4/8(月) 始業式・入学式
5/11(土) 教育懇談会
6/6(木) 体育大会

あとがき
編集作業を通じて、学校行事の様子や生徒の皆さんの活動が確認できる1年でした。この紙面が皆様にとっても我が子の成長の様子を知るきっかけとなつていれば幸いです。発行にご協力いただきました皆様、ありがとうございました。(総務委員一同)

国際交流委員会 渡辺 孝志
伏木高校では、毎年、中国、韓国、ロシアの友好校と交流行事を実施することで、相互交流を活発に行っています。

今年度こそ国際交流を再開しようと思案したものの、国際情勢は急速に悪化しており、現在においても緊張含みであることから、友好校からは明確な回答が得られず、ホームステイの実施は断念いたしました。しかしながら、先生方の熱意により、2年生の生徒が4年ぶりに第二外国語の選択科目に応じ語学研修を実施できたことに、大変感謝しております。

国際情勢は流動的ではありますが、状況が急激に変化するからこそ、その中で生きている感覚や行動力はますます必須となつてきております。次年度以降もこうした交流が再開され、伏木高校生徒が国際人として成長し、社会に巣立っていくことを願っています。